

2001年夏季号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No.102



写真：「たくさんおあがり」（セキレイ）有田政一さん撮影（南河原公園にて）

もくじ

2 特集 かわさき市民アカデミー

4 生涯学習ア・ラ・カルト

6 ぐるーぷ BOX / いま地域で学校で

7 まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 俳壇

8 イベントパーク

お知らせ…かわさき市民アカデミー「ブックレット」刊行

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085

ステージ・アップ直通 TEL 044(733)5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp

特集

かわさき市民アカデミー

2001年度後期講座 受講生募集

新たな自分に出会う知の探究

「かわさき市民アカデミー」は、継続的で専門的な学習をする市民のための高等教育機関として1993年9月に開校しました。以来、学ぶ仲間が増えつづけ、8年間の受講者数は2万人を超えました。この中から自主学習グループもいくつか誕生しています。かわさき市民アカデミーでは、正規の18コースの講座・演習と「川崎学」の他に、時代の動向や市民の皆さまの多様なニーズに応じて、特別講座や夜間講座を実施しています。この秋に行う特別講座と夜間講座を紹介します。

- 『150億年の宇宙と地球』…川崎在住の科学者・東京大学教授の鳥海光弘先生が宇宙と地球の誕生に迫ります。
- 『やきもの文化史』…昨年の受講者が170人と人気のあった講座で、さらに内容を深め第2弾を行います。
- 『花の魅力』…玉川大学育種学研究室の協力で、花の文化史を中心に顕微鏡による花の観察までを行います。
- 『世界の職人芸を訪ねる』…毎回その分野で一流の職人・専門家をお招きし、匠の神髄をうかがいます。
- ◆『戦後の科学事件を探る』…原発事故・薬害エイズ・臓器移植などを国際基督教大学の柴田鉄治先生と考えます。
- ◆『日米野球比較論』…いま大リーグで活躍中のイチローや新庄。日米野球を比較し日本人について考察します。
- ◆『なぜ歴史教科書はもめるのか』…さまざまな議論が沸騰している日本の歴史について考えます。

受講生の声

アカデミーに学んで

00みどり学 長澤 宗幸

昨年4月よりアカデミーに籍を置き、学びの中で1年が経過しました。入学時アカデミーの学習目標を聞かされ、初めは理解に苦しんでいましたが、学習する中で、自分の歩む先が見えてきた今日この頃です。それは、受講の目的として、今までの企業社会の生活から地域社会に目を向けた生活へ転換するために、生活系のコースを選択したのが功を奏したのかもしれません。クラス委員、友の会役員と大変貴重な経験をさせて頂きました。第一線を退いたサラリーマンの人間関係の再編成は困難が多いとか、年輪とともに能力の低下があるとの声を聞きますが、これからも経験と知識を大切に、また補填しながら、健康を維持して、友人を求め楽しく学習を進めていきたいと思っています。

知的刺激をバネに

00芸術(美術) 山根 由暉

「金額・時間・量」などの尺度の世界から脱出し、学生時代に全く無縁であった美術史を紐解くつもりには、昨年のかわさき市民アカデミーのカリキュラム「ふたたびクレーを読む」「印象派再考」の両講座は非常に魅力的な内容でした。西田秀穂先生、三浦篤先生ともに素晴らしい講義内容で、授業のたびに知的刺激を受けては図書館に通いました。社会の変遷が新たな絵画の流れを生み、時代の寵児の誕生を迎えるおもしろさを学びました。後期も美術の講座で学習を進めましたが、知的刺



激は次第に絵画に影響を与える宗教に向くようになりました。現在は西欧文化の原点である旧約聖書、新約聖書の勉強に手を広げ絵画を見ているが、新たな視点もたらす新鮮な驚きと充実感に学習する喜びを日々実感しています。

ある日の感動した授業から

00ことば 小西 美子

「新聞記者で俳句をやる者がかなり多いんですよ」「先生も?」「昔ちょっと」「ぜひご披露ください」。原壽雄先生は、照れながらご紹介下さいました。

『かなかなも 生きている わが臍(ホヅ) つかむ』リュックサック一つで戦場から帰ると、街は焼け失せトタン屋根にむしろの壁の我が家。「エッ!そんな焼け跡に蟬が生き残っていたのですか?」「すごい蟬しぐれだったな」。昭和一桁の原点、敗戦の焦土の中で、一億みなさっぱりと貧しく平等で、平和への希求心に燃えていたあの頃を思い出す授業でした。

2001年度後期(10月～来年2月)講座一覧

受講申し込み受付中

No.	コース	講座名	講師	曜	開始時間	会場
1	00人間学	自然としての人間その生と死 道元を読む	東京大学名誉教授 森本和夫	月	11:00	①
2	01人間学	現代医療の課題	精神科医 河合 洋	月	9:20	①
3	00政治国際	近代日本の歴史的特性	千葉大学教授 坂野潤治	月	9:20	①
4	01政治国際	21世紀の平和学	国際基督教大学教授 最上俊樹他	月	11:00	①
5	特別講座	150億年の宇宙と地球	東京大学教授 鳥海光弘	月	9:20	①
6	00文学	世紀境の文学～チャーホフを中心に	神奈川大学教授 中本信幸	火	10:30	①
7	00ことば	現代のマスコミ、ジャーナリズムを読み解く	コラムニスト 天野祐吉他	火	13:00	①
8	川崎学Ⅳ	川崎の自然	桜美林大学名誉教授 三島次郎他	火	10:00	野外
9	01歴史	モダニズムと日常生活	成蹊大学教授 バーバラ・佐藤	火	9:50	①
10	00高齢福祉	新たな地域福祉の創造	ルーテル学院大学教授 市川一宏他	火	10:30	①
11	00美術	セザンヌ考	実践女子大学教授 末永照和	水	11:00	②
12	01ことば	芸術創造とことば～現代の詩・小説を読む	成蹊大学名誉教授 江藤文夫	水	10:30	①
13	川崎学Ⅱ	市民にやさしい道路と交通を求めて	教育研究者 岩淵英之他	水	13:30	①
14	特別講座	やきもの文化史	根津美術館客員研究員 佐藤サアラ他	水	9:20	②
15	特別講座	花の魅力	玉川大学教授 稲津厚生他	水	14:30	②
16	01音楽	モーツァルト大学(2)	新国立劇場副理事長 海老澤敏	木	10:30	②
17	01科学	身の回りの科学・エネルギー・公害	東京大学名誉教授 東 昭他	木	10:30	①
18	特別講座	世界の職人芸を訪ねる	調律師 村上輝久他	木	13:30	②
19	00経済	19世紀イギリスの生活文化と経済	東京大学教授 小野塚知二	金	11:00	①
20	01経済	政府と市場	神奈川大学教授 池上和夫他	金	9:20	①
21	01高齢福祉	少子高齢社会と高齢者の生活	長崎純心大学教授 一番ヶ瀬康子他	金	10:30	①
22	00みどり学	みどりと人の生活	東京農業大学客員教授 永嶋正信他	金	10:30	①
23	01家族	家族の再生～依存から自立へ	東京大学助教授 瀬地山角他	金	10:30	②
24	川崎学Ⅰ	交通の歴史と地域社会	法政大学名誉教授 村上直他	土	10:00	①
25	川崎学Ⅲ	こどもの遊び環境とまちづくり	川崎地方自治研センター	土	13:00	①
A	夜間講座	戦後の科学事件を探る	国際基督教大学客員教授 柴田鉄治	月	18:30	③
B	夜間講座	日米野球比較論～野球から見る日本人論	慶應義塾大学名誉教授 池井 優	金	18:30	②
C	夜間講座	なぜ歴史教科書はもめるのか	ジャーナリスト 西島建男	土	14:00	①

【会場】①川崎市生涯学習プラザ ②新百合21ビル ③中小企業・婦人会館

- 講座時間 — 1回の講座時間は1時間20分(2・3時間の講座、午前・午後を通しての講座もあります)
- 受講料 — 1講座7,500円(14回)。No8は15,000円、No17とNo22は17,500円(午前・午後を通して受講)
夜間講座A～Cは4000円(6回)
- 申し込み方法 — 官製はがきに講座名、(複数受講も可)・住所・氏名・電話番号を記し、下記へお申し込みください。
- 申し込み先 — 〒211-0064 中原区今井南町514-1 川崎市生涯学習プラザ内 かわさき市民アカデミー事務局
- 締め切り — 8月13日(月) 当日消印有効
- その他 — 日程、講座名、講師は変更することがあります。応募者多数の場合は抽選になります。
- 問い合わせ — ☎044(733)6626 9時から16時(日曜・祝日を除く)

●まなぶ●

資格取得支援講座受講生募集

①福祉住環境コーディネーター3級

- 【期 間】 9月27日～10月25日の木曜日、全5回
- 【時 間】 13時～16時
- 【費 用】 受講料20,000円、教材費3,000円
- 【定 員】 30人（応募者多数の場合は抽選）
- 【申込期間】 7月31日(火)～8月10日(金)

②TOEIC

- 【期 間】 10月6日～2002年2月2日の土曜日、全15回
- 【時 間】 初級10時半～12時半
中級13時半～15時半
- 【費 用】 受講料各30,000円、教材費各3,000円
- 【定 員】 各30人（応募者多数の場合は抽選）
- 【申込期間】 8月28日(火)～9月7日(金)

- ◆定員に満たない講座は中止になることもあります。
- ◆場所は、①②とも新百合21ビルB2F
- ◆申し込みは、電話かはがきで。電話の場合は申込期間中の(火)～(金)10時から16時に ☎952-5000へはがきの場合は最終日必着で下記にお送りください。
〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2新百合21ビル内
川崎市生涯学習振興事業団「資格取得支援」係

問い合わせ 学習事業室新百合分室 ☎044(952)5000

「初めての陶芸教室」受講者募集!

初心者を対象に陶芸の楽しさを体験していただくための陶芸教室を次の通り開催致します。

【コース・日程】

- ・木曜コース 全8回
10/4, 10/18, 11/1, 11/15, 12/6, 12/20, 1/17, 1/31
- ・土曜コース 全8回
10/6, 10/20, 11/10, 11/17, 12/1, 12/15, 1/12, 1/19
- 【時 間】 木曜コース…9時半～12時半
土曜コース…13時半～16時半
- 【場 所】 川崎市青少年創作センター
(小田急線生田駅下車徒歩10分 ☎911-1510)
- 【対 象】 市内在住・在勤の18歳以上の方
- 【定 員】 各24人（応募者多数の時は抽選）
- 【費 用】 各コースとも18,000円（教材費含む）
- 【申し込み】 はがきまたはファックス
- 【締め切り】 8月31日(金)必着
- 【申 込 先】 〒211-0064 中原区今井南町514-1
川崎市生涯学習振興事業団
学習事業室「陶芸」係

問い合わせ ☎044(733)6626 / Fax 044(733)6697

生涯学習

●はぐくむ●

八ヶ岳に来てみませんか!

「川崎市八ヶ岳少年自然の家」は、八ヶ岳連峰の南麓、標高1260mの高原にあります。ハイキングやキノコ狩り、スキーなど、豊かな自然とのふれあいを楽しめます。

【こんなことができます】

- ・登山やハイキング、自然観察
- ・ほうとうづくりやバーベキューなどの野外炊飯
- ・杉板を使った工作などの創作活動
- ・キャンプファイアーや天体観察施設での星座観察など

【申し込み】

利用の6カ月前～2カ月前までにお電話ください。

【その他】

家族や仲間同士でも宿泊できる保養所「川崎市市民休暇村」も併設しています。

問い合わせ 川崎市八ヶ岳少年自然の家
☎0266(66)2011 / Fax 0266(66)2014
〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原12067-482

川崎市子どもの権利に関する条例—その4

—地域における子どもの権利保障—

子どもたちをとりまく課題の解決に向けて、家庭や学校などを支え、一緒に取り組む地域づくりの大切さが、条例案の策定過程では検討されました。このような背景を踏まえ条例の第3章第3節では、地域が子どもの権利実現に果たす大切な役割として次の3点をあげています。

- 一つは、子どもの育ちの場としての地域の役割です。
- 二つ目は、家庭や学校などとともに地域が果たす子どもの居場所としての役割です。三つ目は、地域における子どもの活動が子どもの豊かな関係づくりにとって大切であるという点です。具体的な規定は、次の通りです。
- ◆地域で子どもが豊かに育っていけるように、子どもの立場から地域の環境を考え、整えていきます。
- ◆地域において子育ておよび教育環境の向上をめざして取り組んでいる組織（例えば地域教育会議など）の活動を支えていきます。
- ◆子どもの居場所を考えあい、居場所の確保と普及に努めます。
- ◆地域における子どもの自治的な活動を奨励し、支援に努めます。
- ◆子どもの意見を市政に反映させる「川崎市子ども会議」を設けます（第4章で規定しています）。

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

ラ・カルト

●さがす●

親子でたのしむ夏休み

「見学情報」でわがまち探検！再発見！

「ふれあいネット」には、さまざまな情報が入っていますが、そのなかの「見学情報」には、川崎市を中心に観光地や文化財、公共施設、民間施設の情報があつきます。

散策コースや公園、探鳥地、花の名所などを簡単にさがし出すことができます。みなさんが住んでいるまちにも、「知る人ぞ知る名所」があるかもしれません。この夏「見学情報」を使って、親子でまちを探検してはいかがでしょうか。

※「ふれあいネット」に入っている情報は施設利用者カードを持っていなくても見ることができます。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

●たのしむ●

この夏チャレンジしませんか
いま人気のスノーボード

暑い夏にマイナス3度の屋内ゲレンデで“ウインタースポーツ”にチャレンジしてみませんか。スノーボード協会公認のインストラクターが、楽しくレッスンします。

【期 間】

7月23日(月)～7月27日(金)

【コ ー ス】

- ① 1日コース (期間中のいずれか1日) 10時半～12時
- ② そりあそびクラス (同上) 13時半～15時
- ③ 5日間コース 13時～14時半

【対象・定員】

- ①③…小学生以上 ②…概ね4歳～小学3年生まで
- 定員は各コースとも15人(抽選)

【受 講 料】

- ①3,000円 ②500円 ③12,000円
- (ウエアとボード・そりのレンタル料と保険料を含む)

【会 場】

スノーヴァ溝の口(南武線「津田山駅」下車徒歩2分)

【申し込み】

7月9日(月)必着で、往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、コース名、受講希望日(1日コースとそりあそびクラスの方)を記し、下記にお送りください。

〒211-0064 中原区今井南町514-1

川崎市生涯学習振興事業団 スポーツ事業室

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(733)5572

ハート & ハーモニー Vol.14

使い過ぎ症候群とは？

スポーツ競技者にも愛好者にも共通して悩みの種になるスポーツ障害が、いわゆる「使い過ぎ症候群」と呼ばれる慢性の痛みです。痛みの原因が時間的にははっきりしている急性の外傷に比べて、気が付いたら痛くなっていたというのが特徴です。

このようなトラブルは、スポーツに真剣に取り組んでいる人ほど多い傾向があり、皮肉な言い方をすれば、結果的に「故障を起こすためにトレーニングをしている」としか言えない人もいます。逆に言うと、何か故障が出てくるまでは漫然と工夫のないトレーニング内容を繰り返しているとも言えます。

バスケットボールやバレーボールなどのジャンプ動作の多い競技での膝の前下面の痛み(ジャンパー膝)、野球の投手や槍投げでの肘の内側の痛み(野球肘)、テニスでの肘の外側の痛み(テニス肘)、短距離走者での脛の前面の痛み(シンスプリント)、などは数が多いだけではなく、このようなスポーツ障害があることを念頭に置いてトレーニングをしないと起こす可能性が高いのです。少なくともトレーニング後に身体のケアをするときに、初期の小さな痛みが起こっていないかどうかを自分で注意深く観察できるようであれば、本格的な障害になる前に専門のスポーツ整形外科医に相談することもできます。

痛みがあるとき(探すときでも)の痛い部位の触り方のこつは、「痛くないところから触る」事です。いきなり痛い所を触ると、その痛みのために痛みの強さも拡がりも正確には分からなくなります。周囲の痛くない所を決めて、すこしずつ内側の痛みを確認します。こうすれば自分でも痛みが弱くなったか範囲が狭まったかが分かります。左右を比べてみるのも大切です。例えば片方の膝に軽い炎症がある時、左右の同じ部位を同時にそれぞれの手で触れておいて、左右の手を入れ替えてみると、温度差があれば違いが良く分かります。

「使い過ぎ症候群」の初期に最も大切なことは、休むことです。3日休まなかったために3年以上苦しむことすらあります。痛みを我慢して得られるものはほとんどありません。休んで自分の身体をもっと慎重に観察すべきです。故障はその人の「最も弱い部位」に出やすいので、フォームや筋力のバランスを見直す機会です。単純動作であるランニングであっても、「上手・下手」を意識して美しく合理的な動作を身に付けることが「使い過ぎ症候群」の根本的な予防なのです。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

優雅な旋律を奏でる

「プラザ田島琴同好会」

火曜の昼さがり、川崎区のプラザ田島の一室から、優雅な琴の音が流れています。弾いているのは「プラザ田島琴同好会」(大塚信子代表、会員9人)です。6年前に同プラザ主催の成人学校の終了者で発足したこの会は「細く長く」をモットーに、山田流箏曲教授の三田村鳳翔さんの指導で、けいこに励んでいます。

会員は、以前習ったことのある人、60歳過ぎて初めて琴に触れたという人などさまざま。同会では段階ごとに、2・3人一緒にけいこをつけてもらいます。「みなさんの足を引っ張らないように」と、それぞれが家で練習してくるので「個人で習うよりも上達が速い」と三田村さん。この日は「秋の七草」と「六段の調べ」をおさらいしていました。順番を待つ間、譜面の上で指を動かし練習する人もいました。20代から70代のメンバーにとって、子育てや介護などの日常から少し離れ、13弦が織りなす響きに包まれるこの場が、心安らぐひとときだそうです。

毎年秋に開催される「プラザ田島サークル祭」では、

日ごろの練習の成果を披露するとともに「さくら」「荒城の月」など誰もが知っている曲を演奏し、来館者を楽しませています。

会員の声「60年のブランクを経てまたはじめました。足が弱いのですが、ここへ来てみんなと一緒に弾くのがなにより楽しみです」。

◆活動日：火曜(月3回)、13時半から

◆場 所：プラザ田島

◆連絡先：☎・Fax (333)0256の大塚さん



いま地域で学校で

郷土の伝統芸能を引き継ぐ

-住吉小学校「住小子どもばやし」-

そろいのたすきに鉢巻きしめて、あざやかなバチさばきで太鼓を打ち鳴らす子どもたち。祭りを思わせる鉦や笛の音。五月晴れのある日、中原区の住吉小学校(渡部和美校長、児童数521人)を訪ねると、運動会で披露する「住小子どもばやし」の練習の最中でした。

同校では創立100年を迎えた昨年、記念行事のひとつ



として「住小子どもばやし」に取り組みました。このおはやしは、昔から地元で伝わる「木月囃子」(住吉神社「木月囃子連」)を基に、音楽担当の原田まち子先生が、子どもたちが演奏しやすいように手を加えたものです。5年生になると、全員が笛も太鼓も演奏できるよう練習をはじめます。手ほどきするのは6年生の役目。運動会での演奏を最後に、5年生に引き継ぎます。

ひと通りおぼえたところで、木月囃子連の金子正夫さんに見てもらいます。金子さんは所作やバチさばき、間の取り方などを教えるだけでなく、おはやしの由来や意義、歴史にも触れ、子どもにわかりやすく話して聞かせるそうです。

こうして覚えたおはやしは、校内のフェスティバルやPTAの行事の時に発表しています。また、近くの特別養護老人ホームに向いて演奏することもあります。子どもたちは「お年寄りが涙を流して聞いていた」「ちょっと失敗したけど拍手がもらえてうれしかった」と感想文に記しています。

渡部校長は「このおはやしを聞いて、あらためて地域を知り親しみを感じたという親の声もあります。また、『木月囃子連』に入り、本格的に練習をする子も出てきました」と話していました。

まち・ひと・多面体

“ふれあい市場” など地域活動に貢献

「川崎信用金庫」

「自然食品のクッキーが200円からでーす」「くつ下がありまーす。どうぞご覧になってくださーい」大きな声が川崎駅近くのかわしんふれあい広場で飛び交っています。風薫る5月のある日、障害者施設の手作り製品展示即売会「ふれあい市場」が開かれました=写真。売り場に並ぶ手芸品、陶芸品、食品などは、障害者の方とボランティアや家族などが協力して作り上げました。ピーズの腕輪や布製の手さげ袋など、23施設の商品がにぎやかに並んでいます。「地球を守るせっけん」「魔法のたわし」など商品名にも工夫が凝らされていました。

今年で5年目を迎える「ふれあい市場」は、川崎市心身障害者地域福祉協会の主催で5月と10月に開催され、川崎信用金庫は場所の提供や広報活動で支援をしています。職員の方は「障害者の皆さんに大勢の人々とふれあう機会を持っていただくことが大切な目的です」と話していました。

同金庫は地域活動の支援に積極的に取り組んでおり、「ふれあい市場」のほかにも、特に青少年育成を支援す



る事業には力を入れています。小学校5・6年生を対象にした作文と絵画のコンクール「川崎ジュニア文化賞」では受賞作品を本店ロビーで展示したり、受賞者を川崎市の姉妹都市オーストラリアのウーロンゴン市に親善大使として派遣しています。また、2年生から4年生を対象とした「かわしん杯少年サッカー大会」は今年で8回目を迎えます。サッカー少年たちがたくさんの試合を体験できるようにリーグ戦をとりいれた大会は、54チームが参加し、7月中旬の決勝に向けて熱戦を繰り広げている最中です。

くらし百景

俳壇

あすなる句会

送り火の消へて浄土につきしかな
 かしましき鳥に目覚めて明け易し
 車椅子老を重ねる夏帽子
 忘れじとメモ取る一句夏初め
 曇天を突き抜ける如朴の花
 招かれし螢の里や夜の雨
 稲妻の闇を展きて遠のけり
 母の日や子の手に余る贈り物
 老鶯の一と声風にのまれけり
 嫁ぎたる娘の香残れる夏布団
 緑陰に声のやさしき紙芝居
 万緑や上野に和上鎮座せり
 曳き船の帰る運河や夕焼け雲
 離農せし母の無口や麦の秋
 移転せし庭に夏萩こぼれをり
 模様替へ部屋の間まで初夏の風
 尾瀬沼に雲流れ行く水芭蕉
 ひもときし古記の余韻や明け易し
 沢の水集めて暗し谷若葉
 旅の地図広げ親子の夏休み

渡辺 みど江
 小林 初江
 三平 つね子
 小野 澄子
 亀田 文子
 佐藤 憲優
 佐々木 スミ子
 原嶋 しず子
 新聞 圭介
 田伏 道子
 関谷 三子
 酒井 富子
 遠藤 勝
 和田 とよ子
 石川 あい子
 佐藤 絹枝
 関谷 優美子
 山村 美佐恵
 今田 和子
 米田 妙女

＊南薔いこいの家で俳句会を始めて早九年の月日を数えました。二、三年は俳句会というより添削会でしたが、皆様上達が早く季語の使い方も上手になりました。教えられることも多々あります。句会も「楽しく」をモットーにしております。
 米田 妙女

情報コーナー **イベントパーク** 講座・コンサート他

●東芝科学館開館40周年記念 親子夏休みイベント

7月23日(月)～8月31日(金)。アニメ映画上映と工作教室を開催。工作教室は地球儀作り▽クレヨンカップ▽万華鏡▽自動シャボン玉作り▽はしご下り▽うちわ作り▽ソーラーカー▽プロペラカー。無料。詳細は☎(549)2200。

●川崎市民プラザ子ども陶芸教室

8月7日(火)、18日(土)、21日(火)、全3回。午前コースは10時から、午後コースは13時半から。小物を制作する。対象は小学3年～中学生。参加費500円(含材料費)。定員は各30人、抽選。7月10日(火)までに往復はがきに住所、氏名、☎、希望コースを記し〒213-0014高津区新作1-19-1「子ども陶芸教室」係。☎(888)3131。

●明治大学理工学部「夏休み科学教室」

8月25日(土)13時から、同大生田キャンパス。対象は小学3年～中学生。テーマごとに工作や実験を行う。無料。テーマはA・ミニカーをつくらう▽B・模型飛行機▽C・コマ▽D・エンジン▽E・炎色反応▽F・ホームページ▽G・石けんまくの世界▽H・発電機。7月7日(土)までに、はがきに希望テーマ、住所、氏名、☎、学校名・学年、性別、保護者名を記し〒214-8571(住所不要)同大理工学部事務室「夏休み科学教室」係。☎(934)7451の井口研究室。

●川崎授産学園①天体観望会②20周年ふれあい盆踊り大会

①は7月28日(土)19時より。七夕星、夏の星座、月面、火星などを観望。無料。当日直接。雨天・曇天時は室内でスライドや天文童話を。②は8月7日(火)17時半より、雨天の場合は翌日。模擬店や園生の作品販売あり。☎(954)5011。

●玉川大学夏休み工作教室～音の出る手づくり玩具

7月27日(金)と28日(土)の10時から。玩具を4種製作する。対象は小学校高学年以上。受講料8000円(含材料費)。定員10人。☎042(739)8895の同大継続学習センター。

●公開講座～いま、くらしと看護は…

9月8日(土)13時半から、市立看護短期大学講堂で。読売新聞医療情報部の山口博弥さんの講演「医療ルネサンス」。短大教員による講座「いま、看護がおもしろい」。無料。先着300人。7月24日(金)9時より電話かFaxで。Faxには氏名と☎、公開講座受講希望と記す。☎(587)3502。Fax(587)3506。

●ランチタイムコンサート～スペシャル・サマー・ジャズ

7月18日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は中村誠一(サクソ)ほか。曲目は「バラ色の人生」「オルフェのサンバ」ほか。無料。☎(222)8821の文化財団。

●高津ジャズセレクション2001

7月17日(火)18時半開演、高津市民館。出演は守屋純子(ピアノ)、チャカ(ボーカル)ほか。入場料3500円、全自由席。☎(813)4805の高津JAZZ協会事務局。

●演奏会～①電子オルガン②アカデミー室内オーケストラ

①は7月5日(木)18時半開演、洗足学園前田ホール。曲目はラヴェル「ダフニスとクロエ」、ガーシュイン「ピアノコンチェルト in F」ほか。②7月11日(水)18時半開演、同所。チャイコフスキー「弦楽セレナードハ長調」ほか。バイオリンと指揮は海野義雄。入場料各1000円。☎(856)2981。

●魂の万華鏡～ジャズと和楽器の融合

10月12日(金)18時半開演、場所は川崎能楽堂。出演は稲葉明德(箏・横笛)、金井英人(ベース)、馬場高望(パーカッション・薩摩琵琶)ほか。曲目は「ジンギス汗の詩」「シルクロード」ほか。入場料3500円。全自由席。前売り券は7月23日(月)から発売。☎(222)8821の文化財団。

●市民ミュージアム企画展～偶然の振れ幅

7月20日(金)～8月26日(日)。光や音を用いた国内外の現代アーティストの作品を展示。一般900円、大高生400円、中学生以下と65歳以上は無料。☎(754)4500。

●作品展①風景写真②アクリル画③花と風景の油絵

①7月2日(月)～14日(土)久保栄さんの写真▽7月30日(月)～8月18日(土)岡本武史さんの写真。②7月16日(月)～28日(土)木曾佳美さんの作品。③8月20日(月)～9月1日(土)梅本京子さんの作品。場所はスナック喫茶琴。☎(544)0507。

●体操フェスティバルかわさき2001の参加団体募集

11月18日(日)9時から、とどろきアリーナで同フェスティバルを開催。対象は、競技を目的とせず、健康増進や楽しみで体操をしている市内の団体。演技時間は1チーム8分以内(入退場含む)。申し込み締め切りは9月30日(日)。詳細は☎・Fax(233)2233の棚山さんまで。

●東海道フォトコンテスト作品募集

テーマは「写真で詠む東海道」。作品は、平成12年9月以降に撮影した神奈川県下の東海道沿線の写真で未発表のもの。締め切りは8月31日(金)。詳細は☎045(316)3537の神奈川県東海道ルネサンス推進協議会事務局。

●麻俳句会会員募集

第1・3月曜13時から、新百合21ビル地下2階の生涯学習振興事業団の一室で句会を開いています。月会費2000円。初心者には丁寧な指導します。☎(955)9886の山元さん。

かわさき市民アカデミーの講義が「ブックレット」になりました

かわさき市民アカデミーでは、これまでの開設講座で行われた講義の一部をブックレットにまとめました。ご希望の方は、電話・Faxで下記にお申し込みください。

No.1「心を癒す」—国立音楽大学教授 村井 靖児 精神科医で音楽療法の実践者でもある講師の講義記録。(500円)

No.2「食は文化なり」—東京大学教授 樺山 紘一 飢餓・飽食・禁忌・美食という4つの観点から食を考察。(500円)

No.3「明治の精神を考える」—東京大学名誉教授 松本 三之介 近代日本の思想を知るうえで最適の入門書。(500円)

No.4「ジャーナリズムの世界に生きて」—ジャーナリスト 原 寿雄 時代と自分とのかかわりについて語る。(650円)

No.5「憲法とわたし」—憲法学者 奥平 康弘 憲法が私たちの暮らしにどうかかわってきたかを探る。(650円)

◆申し込みは、かわさき市民アカデミー事務局 ☎044(733)6626/Fax 044(733)6697

※夏季号は7・8月号合併号となります。